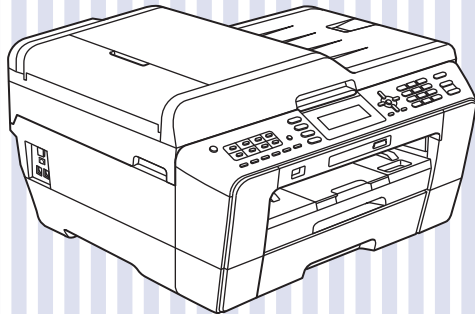
JUSTIO 複合機

MFC-J6510DW MFC-J6710CDW ユーザーズガイド －応用編－

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド 基本編 第6章「こんなときは」で調べる

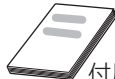
2 サポート ブラザー 検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

Version A JPN

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	
2. かんたん設置ガイド（冊子） お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。	

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。	
4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	付属 ユーザーズマニュアル CD-ROM の見かた ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 6 章「ユーザーズガイド CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは」
5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。	
6. ユーザーズガイド ネットワーク知識編（PDF 形式） 本製品のネットワークの特長に関する基礎的な情報を記載しています。	
7. ユーザーズガイド ネットワーク操作編（PDF 形式） 本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	

■ 便利にお使いください

画面で見るマニュアル（HTML 形式） 上記のうち、3 ～ 7 のユーザーズガイドを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。	

上記はすべて、最新版がサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からもダウンロードできます。http://solutions.brother.co.jp/

最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、ユーザーズガイド 基本編 第 6 章「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

目次

第６章　フォトメディアキャプチャ ...73

本書のみかた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。

注意

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で対象となる製品

本書は MFC-J6510DW、MFC-J6710CDW を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に表記していますので、ご確認ください。

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルおよび画面の説明に、MFC-J6710CDW のイラストを使用しています。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

第 1 章

お好みで設定する

お好みで設定してください

オプションサービス

画面の設定を変更する

お好みで設定してください

本製品の画面の設定を変更します。

1 メニュー を押し、▲/▼ で【基本設定】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【画面の設定】を選び、OK を押す

3 設定したい項目を ▲/▼ で選ぶ

- 【画面の明るさ】
  画面の明るさを調整します。
- 【照明ダウンタイマー】
  画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。(暗くなっても画面の表示は確認できます。)
- 【壁紙選択】
  待ち受け画面のデザインを変更します。4種類から選べます。

4 設定を変更する

A）壁紙選択以外の場合

(1) ◀/▶ で設定を選び、OK を押す

- 画面の明るさ
  【明るく／標準／暗く】
- 照明ダウンタイマー
  【切／ 10 秒／ 20 秒／ 30 秒】

B）壁紙選択の場合

(1) OK を押す

(2) ▲/▼ で設定を選び、OK を押す

5 停止/終了 を押して設定を終了する

ファクスモードに戻る時間を設定する

各モードで操作したあと、自動的にファクスモードに戻る時間を設定できます。【切】を選ぶと、最後に使ったモードを維持します。お買い上げ時は【2 分】に設定されています。

1 メニュー を押し、▲/▼ で【基本設定】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【モードタイマー】を選ぶ

3 ファクスモードに戻る時間を ◀/▶ で選び、OK を押す

【切／ 0 秒／ 30 秒／ 1 分／ 2 分／ 5 分】から選びます。

> 【0 秒】を選んだ場合は、各モードでの操作が完了すると、すぐにファクスモードに戻ります。

4 停止/終了 を押して設定を終了する

スリープモードに入る時間を設定する

設定した時間内にファクスの送受信やパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、本製品は自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。
待機中でもファクスやパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに印刷します。
この待機状態（スリープモード）に切り替わるまでの時間を設定します。
お買い上げ時は【5 分】に設定されています。

1 **メニュー を押し、▲/▼ で【基本設定】を選び、OK を押す**

2 **▲/▼ で【スリープモード】を選ぶ**

3 **◀/▶ で希望の時間を選び、OK を押す**

【 1 分／ 2 分／ 3 分／ 5 分／ 10 分／ 30 分／ 60 分】から選びます。

4 **停止/終了 を押して設定を終了する**

使用するときは、操作パネル上のボタンのいずれかを押せばすぐに再起動します。

セキュリティ機能ロックを設定する

ユーザーの名前とパスワードを登録することで、利用できる機能をユーザーごとに制限できます。
以下の機能を制限できます。

- PC プリント
- フォトメディアキャプチャ
- コピー
- カラープリント
- 枚数制限
- ファクス送信
- ファクス受信
- スキャン

注意

■ パスワードを忘れた場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。

- 管理者だけが各ユーザーの機能ロックの On/Off、制限管理、変更を行えます。設定または変更するには、管理者パスワードが必要です。
- 個別に設定されていない一般ユーザー用に機能をロックすることもできます。(一般モード)
- セキュリティ機能ロックが On の場合でも、原稿濃度(⇒ 16 ページ「画質や濃度を変更する」)、ポーリング送信(⇒ 28 ページ「相手の操作で原稿を送る」)を設定できます。ただし、ファクス送信が制限されている場合はすべてのファクス設定がロックされます。
- ポーリング受信を有効にするには、ファクス送信とファクス受信の両方を有効にする必要があります。
- ファクス受信無効のユーザーが設定されているとき、受信ファクスはメモリーに蓄積されます。その後、ファクス受信が有効なユーザーに切り替わったときに、蓄積されたファクスを印刷するか確認するメッセージが表示されます。

セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する

セキュリティ機能ロックを利用するために、設定画面をウェブブラウザーで表示させます。

注意

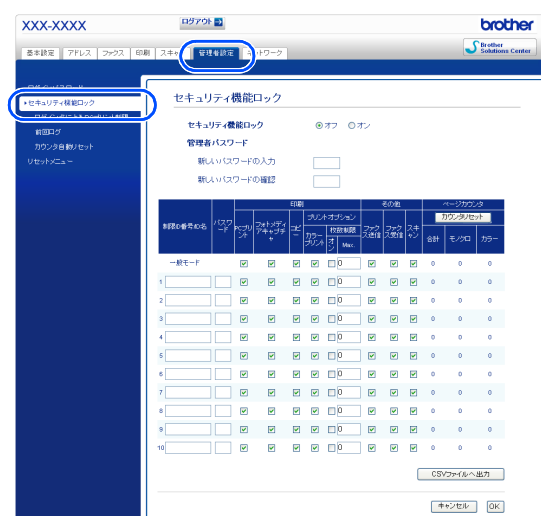
■ ここで設定するパスワードは、本製品の設定画面を表示するためのものです。セキュリティ機能ロックの管理者パスワードではありません。

1 ウェブブラウザーを起動する

2 アドレス欄に、本製品の IP アドレスを入力する

192.168.1.2 の場合は、「http://192.168.1.2/」と入力します。

3 ［ログイン］にパスワードを入力し、をクリックする

4 ［管理者設定］タブ－［セキュリティ機能ロック］をクリックする

セキュリティ機能ロックの設定画面が表示されます。

セキュリティ機能ロックの設定画面をはじめて表示したときは

パスワードを設定してください。

(1) ［パスワードを設定してください］をクリックする

(2) ［新しいパスワードの入力］にパスワードを入力する
32 文字まで入力できます。

(3) ［新しいパスワードの確認］にパスワードをもう一度入力する

(4) ［OK］をクリックする

管理者パスワードを登録する

⇒ 10 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」で設定画面を表示したあと、管理者パスワードを登録します。
セキュリティ機能ロックは、パスワードを知る管理者だけが設定できます。
パスワードを変更することもできます。

1 本製品の設定画面を表示する

⇒ 10 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」

2 ［セキュリティ機能ロック］の［オン］をクリックする

3 ［新しいパスワードの入力］に、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力する

4 ［新しいパスワードの確認］に、管理者パスワードをもう一度入力する

5 画面下部の［OK］をクリックし、管理者パスワードを登録する

管理者パスワードを変更する
(1) 手順 3、4 で、新しい管理者パスワードを入力する (2) 画面下部の［OK］をクリックする

ユーザーを登録する

ユーザーの名前とパスワードを設定して、利用できる機能をユーザーごとに制限します。
ユーザーは 10 人まで登録できます。

1 本製品の設定画面を表示する

⇒ 10 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」

2 ［セキュリティ機能ロック］の［オン］をクリックする

3 ［制限 ID 番号 /ID 名］に、ユーザー名を入力する

7 文字まで入力できます。

4 ［パスワード］に、パスワードを 4 桁の数字で入力する

> 他のユーザーと同じパスワードは設定できません。

5 制限したい機能のチェックを外す

印刷できるページ枚数を制限するには、［枚数制限］の［オン］にチェックを入れて、［Max.］に枚数を入力します。

6 画面下部の［OK］をクリックして登録を終了する

セキュリティ機能ロックを On/Off にする

セキュリティ機能ロックを On にすると、一般モードが有効になります。個別ユーザーの設定を有効にするには、⇒ 12 ページ「ユーザーを切り替える」を参照してください。

1 メニュー を押し、▲/▼ で【基本設定】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【セキュリティ 機能ロック】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【ロック Off ⇒ On】または【ロック On ⇒ Off】を選び、OK を押す

4 管理者パスワードを４桁の数字で入力し、OK を押す

セキュリティ機能ロックが On または Off に設定されます。

ユーザーを切り替える

セキュリティ機能ロックが On のときに、登録されている個別のユーザーが本製品を使用できるように切り替えます。

1 シフト を押しながら ＊トーン を押すか、メニュー を押し、▲/▼ で【ユーザ切替】を選ぶ

2 ▲/▼ でユーザーを選び、OK を押す

3 ユーザーのパスワードを4桁の数字で入力し、OK を押す

ユーザ 設定で許可された機能が使用できるようになります。

一般モードに戻るには、メニュー を押し、▲/▼ で【一般モードへ切替】を選びます。

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する オプションサービス

本製品では、電話会社（NTT など）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。本製品で利用できる機能は、以下のとおりです。

電話番号表示機能	名前表示機能	着信履歴機能
電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。	電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が画面に表示されます。	ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にした場合、かかってきた電話番号を記録します。着信記録から電話帳に登録したり、着信履歴リストを印刷できます。

注意

- 本製品の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイサービス」は利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。契約していない場合は、【なし】にしてください。
- ISDN 回線を利用しているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターまたはダイヤルアップルーターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ナンバー・ディスプレイは、複数台の装置に表示することはできません。外付け電話を接続して本製品でナンバー・ディスプレイを使用する場合は、外付け電話のナンバー・ディスプレイの設定を「Off」にしてください。ただし、本製品の設定により、外付け電話の番号表示を優先させることは可能です。
- 外付け電話でナンバー・ディスプレイ機能を使用する場合、受信モードを【F/T= 自動切換え】に設定していると再呼出音が鳴り始めてからは、画面に番号表示されない可能性があります。

1 メニュー を押し、▲/▼ で【初期設定】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【ナンバーディスプレイ】を選ぶ

3 設定を ◀/▶ で選び、OK を押す

- 【あり】
  本製品の画面に相手の電話番号が表示されます。
- 【なし】
  ナンバー・ディスプレイ機能を使用しません。
- 【外付け電話優先】
  本製品と接続している電話機に相手の電話番号が表示されます。

4 停止/終了 を押して設定を終了する

お好みで設定する
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
付録

ネーム・ディスプレイサービスを利用する（MFC-J6710CDW のみ）

ネーム・ディスプレイは NTT が行っているサービスです。本製品の電話帳に登録していなくても、電話がかかってきたときに相手の名前、電話番号が画面に表示されます。サービスの詳細については NTT（116：無料）にお問い合わせください。
ネーム・ディスプレイサービスを利用する場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。
⇒ 13 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

- ひかり電話では、ネーム・ディスプレイサービスを契約できません。
- お客様がご利用されている電話会社が NTT 東日本、NTT 西日本以外の場合は、ネーム・ディスプレイサービスを契約できません。付加サービスの詳細は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- IP 電話（050 番号）への着信には「発信者名」を表示させることはできません。
- ネーム・ディスプレイサービスの新規契約は、2011 年 10 月に受付を終了しています。サービスの終了予定は 2013 年 2 月です。（2012 年 5 月現在）

かける人

❶ 相手の電話番号をダイヤル

電話をかけるときに、「発信者名」が発信電話番号とともに相手の電話機に表示されるので、安心して電話に出てもらえます。

❷ 発信者番号と「発信者名」を通知

受ける人

❸ 発信電話番号とともに「発信者名」を表示

電話に出る前に、かけてきた相手の「発信者名」が発信電話番号とともに、電話機に表示されるので、安心して電話に出ることができます。

ご自分の「発信者名」を通知するには

NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。費用はかかりません。

「発信者名」をご自分の電話機に表示させるには

「ネーム・ディスプレイ」、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。

● 提供地域	● 発信者名を表示する通話	● 表示される文字
全国（NTT 東日本、NTT 西日本のサービス提供地域） ※一部交換機の種類などにより提供できない地域があります。	NTT 東日本および NTT 西日本の加入電話回線から発信され、発信者名を通知する通話について発信者名を通知します。なお、発信者のお客様が「マイライン」でどの会社を選択されていても発信者名を表示します。	10 文字以内の漢字などで発信者名が表示されます。

● **料金**

月額使用料：住宅用、事務用とも 105 円（INS ネット 1500 については 1,050 円）
別に、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。
（参考）ナンバー・ディスプレイ料金（2009 年 5 月 1 日現在）

- 月額使用料
  加入電話、ライトプラン：420 円（住宅用）、1,260 円（事務用）
  INS ネット 64、INS ネット 64 ライト：630 円（住宅用）、1,890 円（事務用）
  INS ネット 1500：18,900 円
- 工事料：2,100 円

お申し込み・お問い合わせは

局番なしの「116：無料」
受付時間 9:00 ～ 21:00
（年末年始を除き、土日・祝日も営業しております）

第２章

ファクス

応用

通信管理

ファクスの便利な送りかた 応用

設定を変えてファクスする

ファクスを押して表示されるメニューから、ファクスを送るときの設定を変えることができます。

画質や濃度を変更する

［ファクス画質 / 原稿濃度］

ファクスを押して表示されるメニューから、ファクスを送るときの設定を変えることができます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ 17 ページ「変更した設定を保持する」

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 ファクスを押し、▲/▼で【ファクス画質】または【原稿濃度】を選ぶ

3 ◀/▶で設定を選び、OKを押す

画質は以下から選びます。

- 【標準】：
  お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 【ファイン】：
  原稿の文字が小さいときに選びます。
- 【スーパーファイン】：
  原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 【写真】：
  原稿に写真が含まれているときに選びます。

濃度は以下から選びます。

- 【自動】：
  読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 【濃く】：
  原稿が薄いときに選びます。
- 【薄く】：
  原稿が濃いときに選びます。

4 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときはモノクロスタートを、カラーで送るときはカラースタートを押す

画質を変更して、ファクスが送られます。

- ファイン、スーパーファイン、写真モードで送ると、標準に比べて送信時間がかかります。
- 写真モードで送っても、相手のファクシミリが標準モードで受け取ると、画質が劣化します。
- 原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなることがあります。
- カラーファクスを送信するときや、ファクス画質で【写真】を選択したときは、原稿濃度は【自動】で送信されます。
- カラーファクスを送信するときは、画質を【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【ファイン】で送信されます。

ガラス面の読み取りサイズを設定する

[ガラス面読取サイズ]

原稿台ガラスからファクスを送るとき、読み取りサイズをあらかじめ設定しておくことができます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ 17 ページ「変更した設定を保持する」

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 ファクス を押し、▲/▼ で【ガラス面読取サイズ】を選ぶ

3 ◀/▶ で設定を選び、OK を押す

【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

ADF に原稿をセットした場合は、自動的にサイズを検知します。

変更した設定を保持する

(1) **ファクス を押して表示される画面で、初期値にしたい設定に変更する**

下記の設定を保持できます。

- ファクス画質
- 原稿濃度
- ガラス面読取サイズ
- リアルタイム送信

(2) **▲/▼ で【設定を保持する】を選び、OK を押す**

◆【設定を保持しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(3) **1 を押す**

◆現在の設定が初期値として登録されます。

※初期値をお買い上げ時の状態に戻すには【設定をリセットする】を選びます。

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

［発信履歴 / 着信履歴］

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

注意

■ ナンバー・ディスプレイサービスをご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ 13 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

ファクスモードに切り替わります。

履歴/ポーズ を押しても発信履歴・着信履歴を選べます。⇒手順 4 へ

3 ▲/▼ で【発信履歴】または【着信履歴】を選び、OK を押す

4 ファクスを送る相手先を ▲/▼ で選び、OK を押す

5 ▲/▼ で【ファクス送信】を選び、OK を押す

6 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

ファクスが送られます。

発信履歴や着信履歴を削除する

(1) 「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」（18 ページ）の手順 2、3 の操作を行う

(2) 削除する相手先を ▲/▼ で選び、OK を押す

(3) ▲/▼ で【消去】を選び、OK を押す
◆【消去しますか？／はい⇒ 1 を押してください／いいえ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(4) 1 を押す
◆選んだ番号が消去されます。

(5) 停止/終了 を押す

ワンタッチダイヤルを使ってファクスを送る

あらかじめワンタッチダイヤルに宛先を登録しておくと、簡単な操作でダイヤルできます。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第1章「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

ファクスモードに切り替わります。

3 ワンタッチダイヤルを押す

9～16に登録されている番号にダイヤルするには、シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。

4 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

ファクスが送られます。

電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る

[電話帳]

あらかじめ電話帳に短縮ダイヤルなどを登録しておくと、簡単な操作でダイヤルできます。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第1章「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

ファクスモードに切り替わります。

を押しても電話帳・短縮ダイヤルを選べます。⇒手順 4 へ

3 ▲/▼ で【電話帳】を選び、OK を押す

4 ▲/▼ で【検索】を選び、OK を押す

A）あいうえお順で選ぶ場合

5 ▲/▼ で【あいうえお順検索】を選び、OK を押す

6 ▲/▼ で送り先を選び、OK を押す

「五十音順→アルファベット→数字→記号→名前を登録していない番号」の順に表示されます。
登録している番号が2つあるときは、どちらかの番号を選びます。

ア行～ワ行ごとに検索するには、検索したい行が表記されているダイヤルボタンを押します。
「シミズ」を検索する場合は、3 を押します。
「サ行」の先頭が表示されるので、▲/▼ を押して相手先を選択します。

7 OK を押す

8 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

ファクスが送られます。

B）番号順で選ぶ場合

5 ▲/▼ で【番号順検索】を選び、OK を押す

6 ▲/▼ で送り先を選び、OK を押す

登録している番号が2つあるときは、どちらかの番号を選びます。

7 OK を押す

8 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

ファクスが送られます。

C）短縮番号を入力する場合

5 2桁の短縮番号をダイヤルボタンで入力する

登録している番号が2つあるときは、どちらかの番号を選んで、OK を押したあと、【ファクス送信】を選んで OK を押します。

6 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

ファクスが送られます。

相手先の受信音を確認してから送る

[手動送信]

相手の受信音を確認してからファクスを送ります。

注意

■「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 オンフック を押した後、相手のファクス番号をダイヤルする

4 相手の受信音（ピーヒョロヒョロ音）を確認して、モノクロスタート または カラースタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【ファクスしますか ？ ／送信 ⇒ 1 を押してください／受信 ⇒ 2 を押してください】と表示されます。⇒手順 5 へ

5 1【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

送るのをやめるときは

(1) 停止/終了 を押す

◆【キャンセル／はい⇒ 1 を押してください／いいえ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(2) 1 を押す

◆ファクスの送信が中止されます。

複数の相手先に同じ原稿を送る

[同報送信]

1 回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、ダイヤルボタン・ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル・電話帳から、合わせて最大 266 箇所まで指定できます。

注意

■ 同報送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 ファクス を押し、▲/▼ で【同報送信】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【番号追加】または【電話帳】を選ぶ

4 【番号追加】を選んだ場合は、相手先のファクス番号をダイヤルして、OK を押す

【電話帳】を選んだ場合は、OK を押して電話帳から相手先を選び、OK を押す

グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒ 45 ページ「グループダイヤルを登録する」

5 手順 3、4 と同様に 2 件目以降の相手先を選ぶ

6 すべての相手先を選び終わったら、▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す

7 モノクロスタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか ？ ／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒ 2 を押してください】と表示されます。

送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 9 へ

送る原稿が複数枚の場合⇒手順 8 へ

8 1 を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして OK を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

9 2 または モノクロスタート を押す

指定した相手先にファクスが送られます。

すべての相手先に送り終わると、自動的に「同報送信レポート」が印刷されます。

同報送信レポートでは、指定した相手先に正常に送信できたかどうかを確認できます。エラーなどで送ることのできなかった相手先がある場合は、個別に送り直してください。

送るのをやめるときは

メニュー【ファクス】から【通信待ち一覧】を選んでキャンセルします。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第2章「送信待ちファクスを確認・解除する」

- 相手先を重複して指定したときは、重複した相手先を自動的に削除します。電話帳から指定したときは警告音が鳴ります。
- 送信できる枚数は、メモリーの残量によって制限されます。
- 原稿読み込み中に【メモリーがいっぱいです】と表示されたら、停止/終了を押して送信を中止するか、モノクロスタートを押して読み込まれた分だけ送ります。

内容を確認してからファクスを送る

［みてから送信］

送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。

注意

- みてから送信を行うときは、【リアルタイム送信】と【ポーリング受信】を【しない】に設定してください。
⇒ 27 ページ「原稿をすぐに送る」
⇒ 30 ページ「本製品の操作で相手の原稿を受ける」
- みてから送信を行うときは、カラーファクス送信はできません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

注意

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 ファクス を押す

ファクスモードに切り替わります。

3 相手先のファクス番号をダイヤルする

4 みてから送信 みるだけ受信 を押す

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒ 2 を押してください】と表示されます。

- 2 枚目の原稿がある場合 ⇒ 手順 5 へ
- これで送信する場合 ⇒手順 6 へ

5 1 を押し、2 枚目の原稿をセットして、OK を押す

3 枚以上原稿がある場合は、この手順を繰り返します。

6 すべての読み込みを終えたら 2 を押す

画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。

7 画面で、ファクスの内容を確認する

以下のボタンが使用できます。

ボタン	操作内容
＊ トーン	拡大表示します。
# 記号	縮小表示します。
▲/▼	縦方向にスクロールします。
◀/▶	横方向にスクロールします。
0	90° ずつ右回転します。
7 PQRS	前のページを表示します。
9 WXYZ	次のページを表示します。

A）ファクスを送る場合

8 モノクロ スタート を押す

ファクスが送られます。

B）ファクス送信を中止する場合

8 停止/終了 を押す

画面に【キャンセル／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

9 1 を押す

送信が中止されます。

時間を指定して送る

[タイマー送信]

24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。通信料の安い時間に送ることで、通信料を節約できます。タイマー送信は、50 件まで登録できます。

注意

- タイマー送信のときは、モノクロで送信されます。(カラーでの送信はできません。)
- タイマー送信できる原稿枚数は、原稿の内容によって異なります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 ファクスを押し、▲/▼で【タイマー送信】を選ぶ

3 ◀/▶で【する】を選び、OKを押す

送信時刻を入力する画面が表示されます。

4 送信時刻を入力し、OKを押す

送信時刻は、24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて ▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で設定を選びます。

⇒ 16 ページ「画質や濃度を変更する」

5 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタートを押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒ 2 を押してください】と表示されます。

送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 7 へ

送る原稿が複数枚の場合⇒手順 6 へ

6 1 を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットしてOKを押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

7 2 またはモノクロスタートを押して操作を終了する

読み取った原稿が、指定した時刻に送られます。

- 相手が話し中などで送信できないときは、5 分おきに 3 回まで再ダイヤルします。
- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー送信レポートが印刷され、送信結果を確認できます。

同じ相手への原稿をまとめて送る

［とりまとめ送信］

タイマー送信を複数設定している場合、相手先の番号と送信時刻が同じものは、1 回の通信でまとめて送るように設定できます。まとめて送ることで、通信料を節約できます。

注意

- ■ とりまとめ送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- ■ とりまとめ送信のときは、同じダイヤル方法でダイヤルしてください。

1. **ファクス を押し、▲/▼ で【とりまとめ送信】を選ぶ**
2. **◀/▶ で【する】を選び、OK を押す**
3. **停止/終了 を押して設定を終了する**

原稿をすぐに送る

［リアルタイム送信］

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。
メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。お買い上げ時は【しない】に設定されています。
ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ 17 ページ「変更した設定を保持する」

注意

- リアルタイム送信で指定できる相手先は 1 件です。複数の相手先に 1 回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
- ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイムで送信されます。
- リアルタイム送信では、原稿を原稿台ガラスにセットした場合、相手が通話中であれば自動再ダイヤルを行いません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 ファクス を押し、▲/▼ で【リアルタイム送信】を選ぶ

3 ◀/▶ で【する】を選び、OK を押す

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて ▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で設定を選びます。

4 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

本製品は通常、読み取った原稿をメモリーに蓄積してから送信する「メモリー送信」を行っていますが、リアルタイム送信を行うと、原稿はメモリーに蓄積されません。

お好みで設定する
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
付 録

相手の操作で原稿を送る

［ポーリング送信］

本製品に原稿を登録しておくと、ポーリング機能のある他のファクシミリはその原稿を自由に取り出すことができます。これを「ポーリング送信」といいます。
また、受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うこともできます。

機密ポーリング送信は、相手側のファクシミリもブラザー製の場合のみ行えます。

注意

- 相手側のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 ファクス を押し、▲/▼ で【ポーリング送信】を選ぶ

3 ◀/▶ で【標準】または【機密】を選び、OK を押す

4 【機密】を選んだ場合は、4 桁のパスワードを入力して、OK を押す

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて ▲/▼ で項目を選び ◀/▶ で設定を選びます。
⇒ 16 ページ「画質や濃度を変更する」

5 モノクロスタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか ？ ／はい⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒ 2 を押してください】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 7 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 6 へ

6 1 を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして OK を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

7 2 または モノクロスタート を押す

原稿を読み取り、メモリーに蓄積します。

ポーリング送信が終了すると、自動的に「ポーリングレポート」が印刷され、送信結果を知らせてくれます。

ポーリング送信を解除するには、メニュー から【ファクス】OK【通信待ち一覧】を選んで解除します。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「送信待ちファクスを確認・解除する」

海外へ送る

［海外送信モード］

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。
海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第1章「原稿をセットする」

2 ファクスを押し、▲/▼で【海外送信モード】を選ぶ

3 ◀/▶で【する】を選び、OKを押す

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて▲/▼で項目を選び、◀/▶で設定を選びます。
⇒16ページ「画質や濃度を変更する」

4 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタート または カラースタート を押す

ADFに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。
原稿台ガラスに原稿をセットしてモノクロスタートを押したときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい⇒1を押してください／いいえ（送信）⇒2を押してください】と表示されます。
送る原稿が1枚の場合⇒手順6へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順5へ

5 1を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットしてOKを押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

6 2 または モノクロスタート または カラースタート を押す

ファクスが送られます。

ファクスの便利な受けかた

本製品の操作で相手の原稿を受ける

［ポーリング受信］

本製品から操作して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を受けます。（これを「ポーリング受信」といいます。）
ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。ポーリング受信をする時刻を指定したり、パスワードが設定されている「機密ポーリング受信」も行えます。

機密ポーリング受信は、相手側のファクシミリもブラザー製の場合のみ行えます。

注意

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング受信のときは、モノクロで受信されます。（カラーでの受信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。
- 相手側のファクシミリがポーリング送信の準備をしていないときは、受信できません。

ポーリング受信をする

1 ファクス を押し、▲/▼ で【ポーリング受信】を選ぶ

2 ◀/▶で設定を選び、OK を押す

- 【標準】：
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。⇒手順 4 へ
- 【機密】：
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
  ポーリング受信を行いません。

3 (【機密】を選んだ場合）4 桁のパスワードを入力して、OK を押す

(【タイマー】を選んだ場合）受信時刻を入力して、OK を押す

時刻は 24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

4 相手先のファクス番号をダイヤルし、モノクロスタート を押す

相手先のファクス番号を電話帳から選ぶこともできます。

ファクスを受信します。

本製品では、各種のファクス情報サービスを利用できます。ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声が聞こえるもの）とポーリング方式（ピーと音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。

ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前に ＊トーン を入力してください。

タイマーポーリング受信をキャンセルするには、メニュー【ファクス】【通信待ち一覧】からキャンセルしたい設定を選びます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「送信待ちファクスを確認・解除する」

複数の相手先からポーリング受信をする

複数の相手先からポーリング受信をすることを「順次ポーリング」といいます。
順次ポーリングでは、1 回の操作で、複数の相手先のファクシミリにセットされた原稿を受けることができます。

1 **ファクス を押し、▲/▼ で【ポーリング受信】を選ぶ**

2 **◀/▶ で設定を選び、OK を押す**

- 【標準】：
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。
- 【機密】：
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
  ポーリング受信を行いません。

3 **（【機密】を選んだ場合）4 桁のパスワードを入力して、OK を押す**

（【タイマー】を選んだ場合）受信時刻を入力して、OK を押す

時刻は 24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

4 **▲/▼ で【同報送信】を選び、OK を押す**

5 **▲/▼ で【番号追加】または【電話帳】を選ぶ**

6 **【番号追加】を選んだ場合は、相手先のファクス番号をダイヤルして、OK を押す**

【電話帳】を選んだ場合は、OK を押して電話帳から相手先を選び、OK を押す

> グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
> ⇒ 45 ページ「グループダイヤルを登録する」

7 **手順 5、6 と同様に 2 件目以降の相手先を指定する**

8 **すべての相手先を選び終わったら、▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す**

9 **モノクロスタート を押す**

ファクスを受信します。
すべての相手先からの受信が終わると、自動的に「順次ポーリング受信レポート」が印刷されます。

> 順次ポーリング受信を個別にキャンセルするには、ダイヤル中に 停止/終了 を押します。
> 順次ポーリング受信をすべてキャンセルするには、メニュー【ファクス】【通信待ち一覧】からキャンセルしたい設定を選びます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「送信待ちファクスを確認・解除する」

本製品と接続している電話機の操作でファクスを受信する

［リモート受信］

親切受信の設定が【しない】の場合や、親切受信がうまくはたらかない場合は、本製品と接続している電話機から本製品を操作してファクスを受信できます。これを「リモート受信」といいます。

リモート受信を設定する

リモート受信を使用するときは、リモート受信設定を【する】にします。（お買い上げ時は【しない】に設定されています。）また、リモート起動番号を変更することもできます。

1 **メニューを押し、▲/▼で【ファクス】を選び、OKを押す**

2 **▲/▼で【受信設定】を選び、OKを押す**

3 **▲/▼で【リモート受信】を選ぶ**

4 **◀/▶で【する】を選び、OKを押す**

リモート起動番号が表示されます。

- リモート起動番号とは、本製品の外付け電話端子に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用する番号です。お買い上げ時は「#51」に設定されています。
- リモート起動番号を変更するときは、ダイヤルボタンで下 2 桁を上書きします。
- リモート起動番号を変更するときは、下 2 桁の数字部分を変更してください。3 桁すべてを数字に変更すると、本製品と接続している電話機から特定の相手に電話がかけられなくなります。

5 **OKを押す**

6 **停止/終了を押して設定を終了する**

リモート受信の操作

1 **本製品と接続している電話機の受話器をとる**

2 **本製品と接続している電話機の受話器を持ったまま、# 5 1 を押す**

「#51」は、リモート起動番号です。

3 **約 5 秒後に、受話器を戻す**

ファクスの受信が始まります。

注意

■ ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定されている環境でリモート受信を行うときは、電話機のトーンボタンを押して、トーン（プッシュ）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。

- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により、使用できないことがあります。

自動的に縮小して受ける

［自動縮小］

【自動縮小】は、本製品で設定した記録紙サイズの長さを超えたファクスが送られてきた場合に、設定されているサイズに収まるように縮小して受信する機能です。

記録紙トレイ設定について詳しくは、⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「記録紙トレイの設定をする（MFC-J6710CDW のみ）」、「記録紙サイズと種類の設定をする（MFC-J6510DW のみ）」をご覧ください。

1 **メニューを押し、▲/▼で【ファクス】を選び、OKを押す**

2 **▲/▼で【受信設定】を選び、OKを押す**

3 **▲/▼で【自動縮小】を選ぶ**

4 **◀/▶で【する】を選び、OKを押す**

- 【する】：
  自動縮小受信します。
  本製品で設定してある記録紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に、設定されているサイズに縮小します。
  短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小します。
- 【しない】：
  自動縮小受信しません。
  本製品で設定してある記録紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ、設定されているサイズに縮小します。
  長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

5 **停止/終了を押して設定を終了する**

- 自動縮小を【しない】に設定し、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、縮小せず等倍のままで複数枚の記録紙に分割して印刷します。
- 海外で利用されているレジャーおよびレター、リーガルサイズなど、主な用紙のサイズは次の通りです。
  A3：297 × 420mm
  レジャー：279.4 × 431.8mm
  B4：257 × 364mm
  レター：215.9 × 279.4mm
  リーガル：215.9 × 355.6mm
  A4：210 × 297mm
- 本製品で設定した記録紙サイズより小さいファクスが送られてきた場合、拡大はされず等倍で印刷します。

ファクスを転送する

［ファクス転送］

受信したファクスを別のファクシミリに転送します。お買い上げ時は、ファクス転送は設定されていません。

注意

- 【ファクス転送】の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
- 「みるだけ受信」と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。
- 【ファクス転送】を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
- 【ファクス転送】は、【電話呼び出し】、【メモリ保持のみ】、【PCファクス受信】と同時に設定できません。

1 メニューを押し、▲/▼で【ファクス】を選び、OKを押す

2 ▲/▼で【受信設定】を選び、OKを押す

3 ▲/▼で【メモリー受信】を選び、OKを押す

4 ▲/▼で【ファクス転送】を選び、OKを押す

5 転送先のファクス番号をダイヤルボタンで入力し、OKを押す

ファクス番号が登録されている場合は、登録済みのファクス番号が表示されます。

変更する場合は▲/▼で【変更する】を選び、OKを押します。

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。
⇒手順 7 へ
「みるだけ受信」が設定されていない場合
⇒手順 6 へ

6 本製品で印刷するかどうかを▲/▼で選び、OKを押す

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

7 停止/終了を押して設定を終了する

転送先のファクシミリが通話中のときは、自動的に5分おきに3回まで再ダイヤルされます。

ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

ファクスをEメールアドレスに自動転送する（MFC-J6710CDWのみ）

受信したファクスを画像データ（TIFF-F形式）にして、あらかじめ指定したEメールアドレスに、ファイル添付して自動的に転送します。
この機能を使うには、インターネットファクス機能のソフトウェアをサポートサイト（ブラザーソリューションセンター http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードしてください。ソフトウェアを本製品にインストールすると、Eメールアドレスを入力できるようになります。
また、Eメールアドレスへ転送するには、あらかじめネットワークの接続と設定も行う必要があります。
⇒かんたん設置ガイド
⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編

注意

- 【ファクス転送】の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
- 「みるだけ受信」と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。
- Eメールへの転送を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
- 【ファクス転送】は、【電話呼び出し】、【メモリ保持のみ】、【PCファクス受信】と同時に設定できません。

1 メニューを押し、▲/▼で【ファクス】を選び、OKを押す

2 ▲/▼で【受信設定】を選び、OKを押す

3 ▲/▼で【メモリー受信】を選び、OKを押す

4 ▲/▼で【ファクス転送】を選び、OKを押す

5 ▲/▼で【送信方法】を選ぶ

6 ◀/▶で【Eメール アドレス】を選ぶ

7 ▲/▼で【ファクス/電話/Eメール】を選ぶ

8 シフト▼を押しながら 3 DEF を押す

小文字入力モードに切り替わり、Eメールアドレスの入力が可能になります。

9 転送先のEメールアドレスを入力し、OKを押す

⇒ユーザーズガイド 基本編 付録「文字の入力方法」

転送先が登録されている場合は、登録済みのファクス番号またはEメールアドレスが表示されます。
変更するには、【変更する】を選んでOKを押し、クリアを押してファクス番号またはEメールアドレスをいったん消去し、入力し直します。

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順11へ
「みるだけ受信」が設定されていない場合⇒手順10へ

お好みで設定する
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
付録

⑩ 本製品で印刷するかどうかを ▲/▼ で選び、OK を押す

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

⑪ 停止/終了 を押して設定を終了する

受信したファクスをパソコンに送る

[PC ファクス受信]

受信したファクスメッセージを、本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

注意

- カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。
- 【PCファクス受信】は、【ファクス転送】、【電話呼び出し】、【メモリ保持のみ】と同時に設定できません。
- 【PCファクス受信】は Windows® でのみ使用できます。
- 「みるだけ受信」を設定している場合は、【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

1 メニューを押し、▲/▼で【ファクス】を選び、OKを押す

2 ▲/▼で【受信設定】を選び、OKを押す

3 ▲/▼で【メモリー受信】を選び、OKを押す

4 ▲/▼で【PCファクス受信】を選び、OKを押す

5 メッセージを確認して、OKを押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

6 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から▲/▼で選び、OKを押す

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。

ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

注意

- このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順 8 へ

「みるだけ受信」が設定されていない場合⇒手順 7 へ

7 本製品で印刷するかどうかを▲/▼で選び、OKを押す

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

8 停止/終了 を押して設定を終了する

- パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、下記をご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンでファクスを受信する」
- 手順 7 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないまま【オフ】にすると【すべてのファクスをプリントしますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、2 を押してください。1 を押すとメモリーに記憶されているファクスが印刷されます。
- 手順 7 で【本体でも印刷する】を設定しておくと、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

通信状態を確かめる

通信管理

通信管理レポートを印刷する

[通信管理レポート]

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。お買い上げ時は、50 件ごとに印刷する設定になっています。

注意

■ 通信管理レポートはモノクロで印刷されます。

すぐに印刷する

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「記録紙トレイ 1 にセットする」

2 メニューを押し、▲/▼ で【レポート印刷】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【通信管理レポート】を選び、OK を押す

4 モノクロスタートを押す

通信管理レポートが印刷されます。

5 印刷が終了したら、停止/終了を押す

定期的に印刷する

1 メニューを押し、▲/▼ で【ファクス】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【レポート設定】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【通信管理レポート】を選ぶ

4 ◀/▶で印刷間隔を選び、OK を押す

【レポート出力しない／ 50 件ごと／ 6 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと】から選びます。

A)【レポート出力しない /50 件ごと】の場合

(1) 停止/終了を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

B)【6 時間ごと /12 時間ごと /24 時間ごと /2 日ごと】の場合

(1) 印刷する時間をダイヤルボタンで入力して OK を押す

(2) 停止/終了を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

C)【7 日ごと】の場合

(1) 印刷する時間をダイヤルボタンで入力して OK を押す

(2) 印刷する曜日を ◀/▶ で選んで OK を押す

(3) 停止/終了を押して設定を終了する

◆通信管理レポートが設定されます。

定期的に通信管理レポートが印刷されると、レポートの内容はメモリーから消去されます。

送信結果レポートを印刷する

[送信結果レポート]

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、送信エラー時に、ファクスの 1 ページ目が印刷されるように設定されています。

注意

■ 送信結果レポートはモノクロで印刷されます。

すぐに印刷する

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「記録紙トレイ 1 にセットする」

2 メニューを押し、▲/▼ で【レポート印刷】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【送信結果レポート】を選び、OK を押す

4 モノクロスタートを押す

送信レポートが印刷されます。

5 印刷が終了したら、停止/終了を押す

印刷するタイミングと内容を設定する

1 メニューを押し、▲/▼ で【ファクス】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【レポート設定】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【送信結果レポート】を選ぶ

4 ◀/▶ で設定を選び、OK を押す

- 【オン】：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートを印刷します。
- 【オン＋イメージ】：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートと 1 ページ目の画像を印刷します。
- 【オフ】：
  A3、B4 サイズの原稿を送った場合、相手側の機能に合わせてサイズが縮小されたときと、送信エラーのときに結果レポートを印刷します。
- 【オフ＋イメージ】：
  A3、B4 サイズの原稿を送った場合、相手側の機能に合わせてサイズが縮小されたときと、送信エラーのときに結果レポートと送信したファクスの1ページ目を印刷します。
- 【オフ 2】：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートを印刷します。
- 【オフ 2 ＋イメージ】：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートと送信したファクスの1ページ目を印刷します。

リアルタイム送信（⇒ 27 ページ「原稿をすぐに送る」）の場合は、画像は印刷されません。

カラーファクスで送信できなかった場合は送信結果レポートにイメージは印刷されません。

5 停止/終了を押して設定を終了する

着信履歴リストを印刷する

［着信履歴リスト］

着信履歴を印刷します。

注意

■ 着信履歴リストはモノクロで印刷されます。

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「記録紙トレイ 1 にセットする」

2 メニュー を押し、▲/▼ で【レポート印刷】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【着信履歴リスト】を選び、OK を押す

4 モノクロスタート を押す

着信履歴リストが印刷されます。

5 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

第３章

電話帳

電話帳

リモートセットアップ

電話帳を利用する

電話帳

発信履歴・着信履歴から電話帳またはワンタッチダイヤルに登録する

画面に表示されるファクシミリの発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳やワンタッチダイヤルに登録できます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。

⇒ 41 ページ「着信履歴リストを印刷する」

注意

- ■「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、着信履歴は使えません。
- ■ 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 履歴/ポーズ を押す

最新の発信履歴が表示されます。

着信履歴を見たいときは、＊トーン を押してください。

履歴は最新の 30 件が記録されています。

2 ▲/▼ で電話帳に登録したい番号を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【電話帳登録】を選び、OK を押す

電話帳画面が表示されます。

番号 1、番号 2 ともに空いている短縮番号のリストが表示されます。

4 ▲/▼ で短縮番号を選び、OK を押す

ワンタッチダイヤルは「#」、短縮ダイヤルは「＊」が付いています。

5 登録したい相手先の名前を入力し、OK を押す

10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 付録「文字の入れかた」

6 読みがなを編集し、OK を押す

読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。

編集する必要がない場合は、そのまま OK を押します。

7【番号 1】に選択した番号が入力されていることを確認して、OK を押す

8【番号 2】に設定する番号を入力し、OK を押す

【番号 2】を登録しない場合は、そのまま OK を押してください。

9 ▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す

10 停止/終了 を押す

選択した番号が電話帳またはワンタッチダイヤルに登録されます。

グループダイヤルを登録する

［グループ登録］

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ 22 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するときに使用します。グループは、6 つまで登録できます。また、電話帳に登録されている相手先なら、1 つのグループに登録できる数に制限はありません。ただし、グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録できません。

注意

- グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
- 間違った番号を登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくグループを登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ 47 ページ「電話帳リストを印刷する」

1 ▲ を押す

2 ▲/▼ で【グループ登録】を選び、OK を押す

グループダイヤルの登録画面が表示されます。

3 ▲/▼ で登録先のグループを選び、OK を押す

空いている短縮番号のリストが表示されます。

4 ▲/▼ で短縮番号を選び、OK を押す

5 ▲/▼ で【番号追加】を選び、OK を押す

6 グループに登録する相手先を選ぶ

以下の 2 通りの方法があります。

A）あいうえお順で選ぶ場合

(1) ▲/▼ で【あいうえお順検索】を選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で登録する相手先を選び、OK を押す

B）番号順で選ぶ場合

(1) ▲/▼ で【番号順検索】を選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で登録する相手先を選び、OK を押す

登録する相手先の数だけ手順 5、6 を繰り返します。

7 登録する番号をすべて設定したら、▲/▼ で【確定】を選んで、OK を押す

グループダイヤルが電話帳に登録されます。

ワンタッチダイヤルは「#」、短縮ダイヤルは「＊」が付いています。

8 停止/終了 を押して設定を終了する

途中で登録をやめると、登録中のデータは破棄されます。

グループ名を変更する

(1) 「グループダイヤルを登録する」（45ページ）の手順 3 で、名前を変更したいグループを選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で【グループ名変更】を選び、OK を押す

(3) ダイヤルボタンでグループ名を入力し、OK を押す

⇒ユーザーズガイド 基本編 付録「文字の入力方法」

◆グループ名が変更されます。

(4) ▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す

◆変更内容が反映されます。

(5) 停止/終了 を押す

グループダイヤルから相手先を削除する

(1) 「グループダイヤルを登録する」（45ページ）の手順 3 で、削除したい相手先が入っているグループを選び、OK を押す

(2) 削除する相手先を ▲/▼ で選び、OK を押す

◆【消去しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(3) 1 を押す

◆選んだ相手先が削除されます。

(4) ▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す

◆変更内容が反映されます。

(5) 停止/終了 を押す

グループダイヤルを削除する

(1) 「グループダイヤルを登録する」（45ページ）の手順 3 で、削除したいグループを選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で【消去】を選び、OK を押す

◆【消去しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(3) 1 を押す

◆グループが削除されます。

(4) 停止/終了 を押す

電話帳リストを印刷する

[電話帳リスト]

電話帳に登録された内容を印刷します。登録した電話番号に間違いがないかを確認するとき、登録した内容を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。

注意

■ 電話帳リストはモノクロで印刷されます。

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「記録紙トレイ 1 にセットする」

2 メニュー を押し、▲/▼ で【レポート印刷】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【電話帳リスト】を選び、OK を押す

4 ▲/▼ で【あいうえお順】または【番号順】を選び、OK を押す

5 モノクロスタート を押す

電話帳リストが印刷されます。

6 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

お好みで設定する
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
付録

パソコンを使って電話帳に登録する リモートセットアップ

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録 / 編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。
「リモートセットアップ」の使用方法について詳しくは下記をご覧ください。
Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「リモートセットアップを利用する」
Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「リモートセットアップを利用する」

> ネットワークリモートセットアップの起動時に、パスワードを入力する必要があります。お買い上げ時のパスワードは「access」に設定されています。

（リモートセットアップ画面例）

第４章

転送・リモコン機能

リモコンアクセス

電話呼び出し

外出先から本製品を操作する　リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本製品を操作できます。

暗証番号を設定する

[暗証番号]

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3 桁の数字または記号と＊）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

注意

■ 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ファクス】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【暗証番号】を選ぶ

3 暗証番号を入力し、OK を押す

「＊」の左側の 3 桁に、0 ～ 9、＊、# からお好みの番号を設定します。（暗証番号は「＊」を加えた 4 桁の番号になります。）

暗証番号「123」の場合は、1 2 3 を押し、OK を押します。

暗証番号の 4 桁目の「＊」は変更できません。

4 停止/終了 を押して設定を終了する

暗証番号を削除する

(1) 「暗証番号を設定する」（50 ページ）の手順 2 までの操作を行う

(2) クリア を押す

(3) OK を押す

◆暗証番号が削除されます。

(4) 停止/終了 を押す

外出先から本製品を操作する

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。

注意

■ リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。
⇒ 50 ページ「暗証番号を設定する」

■ ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

■ 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティー装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

■ 携帯電話の一部モデルで送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

1 外出先から本製品に電話する

プッシュ回線に接続されているファクシミリ、またはトーン信号が送出できるファクシミリからダイヤルします。

2 本製品が応答し、無音状態になったら、暗証番号を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポー」：
  ファクスメッセージが記憶されています。
- 無音：
  ファクスメッセージが記憶されていません。
  その後、「ピピッ」と鳴ったら、手順 3 に進みます。

3 リモコンコードを入力する

⇒ 52 ページ「リモコンコード」

外付け留守電モードに変更する場合は「9」「8」「1」を押します。

「リモコンアクセスカード」を切り取って携帯いただくと便利です。
⇒ユーザーズガイド 基本編 付録「リモコンアクセスカード」

4 終了するときは「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が 1 回聞こえます。

正しく受け付けられなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。操作をやり直してください。

リモコンコード

外出先のファクシミリから、以下のコード番号を入力して、本製品を操作できます。

コード	操作内容	
設定		
951	メモリー受信を【オフ】にする。（電話呼び出しやファクス転送の設定も解除されます。）	
952	ファクス転送を設定する。（転送先のファクス番号が登録されていないときは設定できません。）	
954	ファクス転送先を設定する。	「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を 2 回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に【ファクス転送】になります。
956	メモリー受信を有効にする。（【メモリ保持のみ】となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になります。）	
メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す。	「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を 2 回押して受話器を置く。
971	ファクスが記憶されているかを確認する。	記憶されているとき：「ピー」という音がする。 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする。
受信モード変更		
981	外付け留守電モードにする。	
982	自動切換えモードにする。	
983	ファクス専用モードにする。	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する。	

外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、「みるだけ受信」を設定するか、【メモリー受信】を【メモリ保持のみ】に設定する必要があります。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「みるだけ受信を設定する」
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「ファクスをメモリーで受信する」

リモコンアクセス機能を使用する場合には、暗証番号の入力が必要です。受信モードによって、暗証番号を入力するタイミングが異なります。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「受信モードを選ぶ」

- ファクス専用モードの場合
  メモリー受信を設定しているとき：
  応答後、約 4 秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。
  メモリー受信を設定していないとき：
  ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態のときに暗証番号を入力します。
- 自動切換えモードの場合
  応答後、約 4 秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。
- 外付け留守電モードの場合
  本製品と接続している留守番電話が応答後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに暗証番号を入力します。

※本製品と接続している留守番電話に応答メッセージを録音する際に、あらかじめ 4 ～ 5 秒無音状態を入れておいてください。

外出先に転送する

電話呼び出し

ファクスが届いたことを電話で知らせる

［電話呼び出し］

ファクスを受信すると、登録した電話番号に電話をかけてファクスが届いたことを知らせます。
そのあと、外出先のファクシミリからリモコンアクセス機能を利用して、ファクスを取り出すことができます。

⇒ 50 ページ「外出先から本製品を操作する」

注意

- 【電話呼び出し】は、【PC ファクス受信】、【ファクス転送】、【メモリ保持のみ】と同時に設定できません。
- 電話呼び出し先として設定した電話が通話中の場合は、呼び出しされません。
- 通信管理レポートや発信履歴に呼び出しの履歴は残りません。
- 呼び出し先の電話番号は、外出先から変更できません。
- 【電話呼び出し】を設定をしても、本製品がカラーファクスを受信すると、呼び出し動作を行いません。
- NTT のボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープはかかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTT にお問い合わせください。

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ファクス】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【受信設定】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【メモリー受信】を選び、OK を押す

4 ▲/▼ で【電話呼び出し】を選び、OK を押す

電話番号が登録されている場合は、登録済みの電話番号が表示されます。

変更する場合は ▲/▼ で【変更する】を選んで OK を押します。
⇒手順 5 へ

変更しない場合は ▲/▼ で【変更しない】を選び、OK を押します。
⇒手順 6 へ

5 呼び出し先の電話番号を入力し、OK を押す

6 停止/終了 を押して設定を終了する

電話呼び出しを解除する

(1) 「ファクスが届いたことを電話で知らせる」（53 ページ）の手順 4 で【オフ】を選び、OK を押す

(2) 停止/終了 を押す
◆電話呼び出しが解除されます。

お好みで設定する / ファクス / 電話帳 / 転送・リモコン機能 / コピー / フォトメディアキャプチャ / 付録

第 5 章

コピー

応用

いろいろなコピー

応用

設定を変えてコピーする

（コピー）を押して表示される画面で、コピーの設定を変更できます。ここで変更した内容は、コピー後に元に戻ります。

（1）コピー画質
コピーの画質を設定します。設定を保持することもできます。 • 【高速】 速くコピーしたい場合に選びます。 • 【標準】 通常のコピーを行う場合に選びます。 • 【高画質】 写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。 ※1 部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。 ※【高速】に設定していても、インク節約モード、ブックコピー、透かしコピー、裏写り除去コピーを設定しているときは、コピーに時間がかかることがあります。
（2）記録紙タイプ
使用する記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定します。 【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】 ※【記録紙トレイ選択】で【記録紙トレイ #2】が選択されている場合は設定できません。（MFC-J6710CDW のみ）
（3）記録紙サイズ
使用する記録紙に合わせて、記録紙サイズを設定します。 【A3 ／ B4 ／ A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】
（4）記録紙トレイ選択（MFC-J6710CDW のみ）
コピー時に使用する記録紙をセットしたトレイを設定します。 【記録紙トレイ #1 ／記録紙トレイ #2 ／自動選択】 ※【レイアウトコピー】で【ポスター（2 x 1）／ポスター（2 x 2）／ポスター（3 x 3）】が選択されている場合は設定できません。記録紙は、記録紙トレイ 1 から給紙されます。

(5) 拡大 / 縮小	
倍率を変更してコピーします。 設定を保持することもできます。 【100%】 【拡大】 • 【113% L 判⇒ハガキ】*1 • 【115% B4 ⇒ A3，B5 ⇒ A4】 • 【123% A4 ⇒ B4】 • 【141% A4 ⇒ A3，B5 ⇒ B4】 • 【204% ハガキ⇒ A4】 • 【240% L 判⇒ A4】 【縮小】 • 【40% A4 ⇒ L 判】 • 【46% A4 ⇒ハガキ】 • 【69% A3 ⇒ A4，B4 ⇒ B5】 • 【81% B4 ⇒ A4】 • 【86% A3 ⇒ B4，A4 ⇒ B5】 【用紙に合わせる】*2 【カスタム（25-400%）】*3	拡大 / 縮小とレイアウトコピーは同時に設定できません。 *1 L 判タテ向きの写真（127mm × 89mm）をハガキにフィットさせます。 *2 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。 【用紙に合わせる】は次のような制約があります。 • 原稿を読み取るときに 3°以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。 • ソートコピー、レイアウトコピー、両面コピー、裏写り除去コピー、ブックコピー、透かしコピーと同時に設定できません。 *3 ダイヤルボタンで直接倍率を入力し、OK を押します。

(6) コピー濃度
コピーの濃度を調整します。5 段階の調整ができます。▶ を押すと濃くなり、◀ を押すと薄くなります。設定を保持することもできます。

(7) スタック / ソートコピー
複数部コピーをするとき、一部ごと（ソートコピー）、ページごと（スタックコピー）にまとめてコピーできます。 ⇒ 59 ページ「スタック / ソートコピーする」

(8) レイアウトコピー
複数の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。設定を保持することもできます。 ⇒ 60 ページ「レイアウトコピーする」

(9) 傾き補正
原稿台ガラスに原稿をセットしてコピーするときに、原稿の傾きを自動的に補正します。 ⇒ 64 ページ「原稿の傾きを補正してコピーする」

(10) 両面コピー
片面 2 枚の原稿を両面 1 枚にコピーできます。とじ辺と原稿の向きの設定により裏面のコピー方向が選べます。 ⇒ 65 ページ「両面コピーする」

(11) 便利なコピー設定

その他のいろいろなコピーができます。

- インク節約モード
  文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。
  ⇒ 67 ページ「インクを節約してコピーする」
- 裏写り除去コピー
  コピー時の裏写りを軽減します。
  ⇒ 67 ページ「裏写りを軽減してコピーする」
- ブックコピー
  原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを修正してコピーできます。
  ⇒ 68 ページ「ブックコピーする」
- 透かしコピー
  コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。
  ⇒ 68 ページ「コピーに文字や画像を重ねる」

(12) 設定を保持する

(1) [コピー] を押して表示される画面で、初期値にしたい設定に変更する

保持できる設定は以下のとおりです。

- コピー画質
- 記録紙トレイ選択（MFC-J6710CDW のみ）
- 拡大 / 縮小
- コピー濃度
- レイアウトコピー
- 傾き補正
- 両面コピー
- インク節約モード
- 裏写り除去コピー

(2) ▲/▼ で【設定を保持する】を選び、OK を押す

◆【設定を保持しますか ? ／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(3) 1 を押す

◆変更した設定が初期値として登録されます。

(13) 設定をリセットする

コピーの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

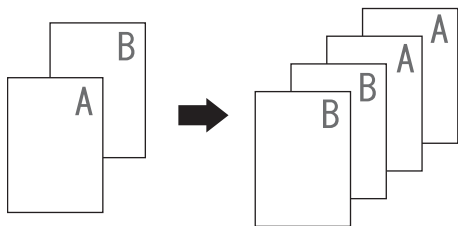
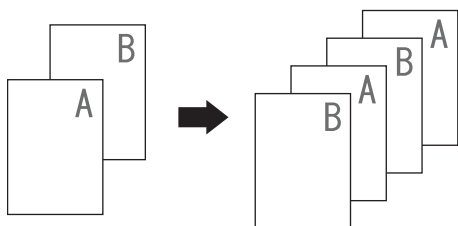
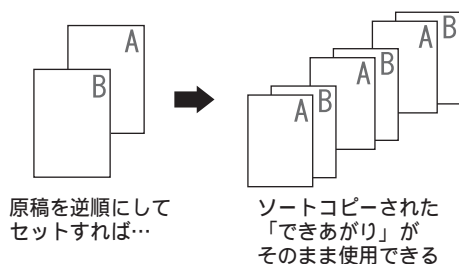
スタック / ソートコピーする

[スタックコピー / ソートコピー]

複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

注意

■【ソートコピー】は、【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【レイアウトコピー】、【ブックコピー】と同時に設定できません（【スタックコピー】は同時設定できます）。

- スタックコピー
  ページごとにまとめて排出します。

- ソートコピー
  一部ごとにまとめて排出します。

コピーは読み取った順に上向きで排出されるため、複数部のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。したがってソートコピー機能を使って大量の部数のコピーを作成するときは、できあがりを逆順に入れ替える手間を省くため、あらかじめ元になる原稿を逆順にしておくことをお勧めします。

1 ADF に原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「ADF に原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

コピーモードに切り替わります。

3 [▲]/[▼] で【スタック / ソート　コピー】を選ぶ

4 [◀]/[▶] で【スタックコピー】または【ソートコピー】を選び、[OK] を押す

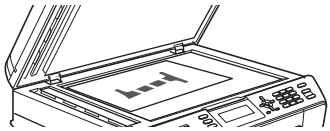
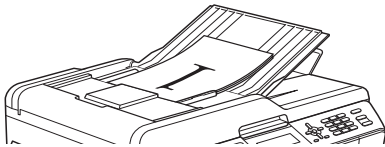
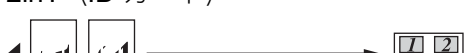
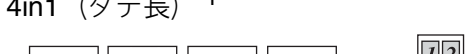
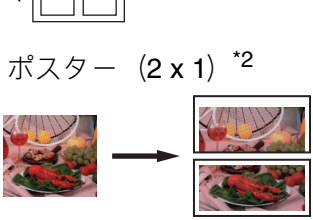
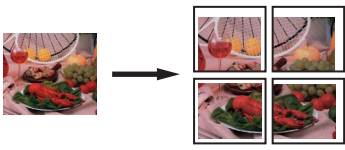
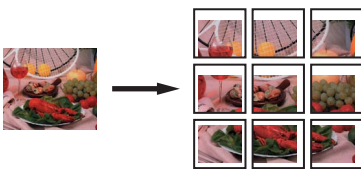
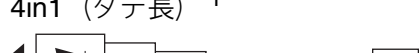
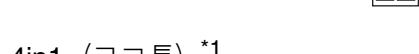
5 部数をダイヤルボタンで入力する

99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、いったんコピーしたあと、残りの部数を再度設定してください。

6 モノクロでコピーするときは [モノクロスタート] を、カラーでコピーするときは [カラースタート] を押す

原稿の読み取り中に【メモリーがいっぱいです】と表示されたときは下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 6 章「エラーメッセージ」

メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。

スタック / ソートコピーを行うと、画質が若干劣化する場合があります。きれいな状態でコピーしたい場合は 1 部ずつコピーしてください。

レイアウトコピーする

[レイアウトコピー]

複数の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。
原稿を ADF にセットする場合は、選択できないレイアウトがあります。セット方法とレイアウトの種類は下表の通りです。

	原稿台にセットする場合	ADF にセットする場合
セット方法	下向きにセットします。はじめにセットした原稿から読み取りが開始されます。	上向きにセットします。一番上の原稿から読み取りが開始されます。
選択できるレイアウト	• 2in1（タテ長）[*1] • 2in1（ヨコ長）[*1] • 2in1（ID カード）[*1] • 4in1（タテ長）[*1] • 4in1（ヨコ長）[*1] • 2 枚に分割 [*2] • ポスター （2 x 1）[*2] • ポスター （2 x 2）[*2] • ポスター （3 x 3）[*2]	• 2in1（タテ長）[*1] • 2in1（ヨコ長）[*1] • 4in1（タテ長）[*1] • 4in1（ヨコ長）[*1]

[*1] カラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。
[*2] 複数部数の指定はできません。

コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

2in1（タテ長）/2in1（ヨコ長）/4in1（タテ長）/4in1（ヨコ長）

複数の原稿を、1 枚の記録紙に割り付けてコピーします。

注意

- 記録紙サイズを【A4】、【B4】または【A3】に設定してください。
- 【拡大 / 縮小】、【ソートコピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】、【透かしコピー】と同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 Nin1コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

3 部数をダイヤルボタンで入力する

※この設定は、モノクロコピーのみ有効です。

4 ◀/▶ でレイアウトを選び、OK を押す

記録紙サイズが A3 または B4 のときに、【2in1（タテ長）／2in1（ヨコ長）】を選んだ場合⇒手順 6 へ

その他の場合⇒手順 7 へ

5 ▲/▼で【レイアウト選択】を選ぶ

6 ◀/▶ で設定を選び、OK を押す

記録紙サイズが A3 のときは、【A3x2 ⇒ A3x1 ／ A4x2 ⇒ A3x1】から選びます。

記録紙サイズが B4 のときは、【B4x2 ⇒ B4x1 ／ B5x2 ⇒ B4x1】から選びます。

7 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート 押す

ADF に原稿をセットしたときは、コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい⇒1を押してください／いいえ⇒2を押してください】と表示されます。

原稿が 1 枚の場合⇒手順 9 へ

原稿が複数枚の場合⇒手順 8 へ

8 1 を押し、次の原稿をセットして OK を押す

原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

9 すべての原稿を読み取ったら、2 を押してコピーを終了する

2in1（ID カード）

身分証明書など、カードサイズの原稿の両面を、1枚の記録紙に割り付けてコピーします。

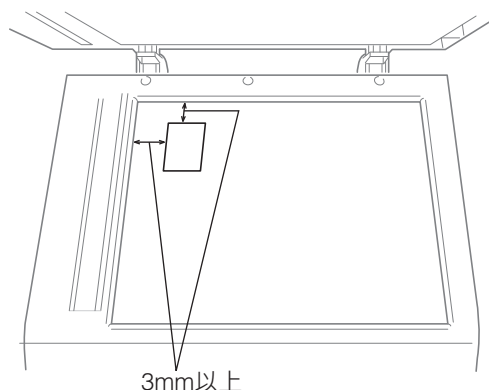
注意

- 記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- 【拡大 / 縮小】、【ソートコピー】、【両面コピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】、【透かしコピー】と同時に設定できません。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿台ガラスに原稿をセットする」

原稿台ガラスの左半分に、端から 3mm 以上空けてセットしてください。

2 Nin1コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

3 部数をダイヤルボタンで入力する

※この設定は、モノクロコピーのみ有効です。

4 ◀/▶ で【2in1（ID カード）】を選び、OK を押す

5 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート 押す

画面に【次の原稿はありますか？／はい⇒1を押してください／いいえ⇒2を押してください】と表示されます。

原稿が 1 枚の場合⇒記録紙が排出されます。

原稿が複数枚の場合⇒手順 6 へ

6 1 を押し、原稿をうら返してセットして OK を押す

2 枚に分割

A3 サイズ 1 枚を、A4 サイズ 2 枚に分割してコピーします。

注意

- 記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- 【拡大 / 縮小】、【ソートコピー】、【傾き補正】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】、【透かしコピー】と同時に設定できません。
- コピー時に拡大/縮小されるわけではありません。記録紙サイズが A4 のときのみ機能します。また、記録紙はあらかじめ 2 枚以上セットしておいてください。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 Nin1 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

3 ◀/▶ で【2 枚に分割】を選び、OK を押す

4 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

ポスター（2 x 1）/ ポスター（2 x 2）/ ポスター（3 x 3）

原稿をポスターサイズに拡大し、複数の記録紙に分割してコピーします。

注意

- 記録紙タイプに【OHP フィルム】は、設定できません。
- 記録紙サイズを【A4】、【B4】または【A3】に設定してください。
- 【拡大 / 縮小】、【ソートコピー】、【傾き補正】、【両面コピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】、【透かしコピー】と同時に設定できません。
- あらかじめ、分割される枚数以上の記録紙をセットしてください。
- （MFC-J6710CDW のみ）
  ポスターコピーで使用する記録紙は、記録紙トレイ 1 から給紙されます。記録紙トレイは【記録紙トレイ #1】または【自動選択】に設定してください。【記録紙トレイ #2】は設定できません。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 Nin1 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

3 ◀/▶ でレイアウトを選び、OK を押す

記録紙サイズが A3 または B4 のときに、【ポスター（2 x 2）】を選んだ場合⇒手順 5 へ
その他の場合⇒手順 6 へ

4 ▲/▼ で【レイアウト選択】を選ぶ

5 ◀/▶ で設定を選び、OK を押す

記録紙サイズが A3 のときは、【A3x1 ⇒ A3x4 ／ A4x1 ⇒ A3x4】から選びます。
記録紙サイズが B4 のときは、【B4x1 ⇒ B4x4 ／ B5x1 ⇒ B4x4】から選びます。

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

原稿の傾きを補正してコピーする

［傾き補正］

原稿台ガラスに原稿をセットしてコピーするときに、原稿の傾きを自動的に補正します。

注意

- 【レイアウトコピー】の【2 枚に分割／ポスター（2 x 1）／ポスター（2 x 2）／ポスター（3 x 3）】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】、【透かしコピー】と同時に設定できません。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合にのみ有効です。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿台ガラスに原稿をセットする」

- B8 サイズよりも小さい原稿や、A3 サイズの原稿はセットしても機能しません。
- 四角形ではない、不定形の原稿は設定しても機能しません。
- 厚みのある原稿は設定しても機能しません。
- 原稿を読み込むときに 3°以上傾いている場合は設定しても機能しません。

2 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

3 部数をダイヤルボタンで入力する

4 ▲/▼ で【傾き補正】を選ぶ

5 ◀/▶ で【自動】を選ぶ

6 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

両面コピーする

［両面コピー］

片面 2 枚の原稿を両面 1 枚にコピーできます。原稿は ADF から送ることをお勧めします。原稿が冊子などの場合は原稿台ガラスを使用してください。
ホチキスやクリップなどで留める側面（とじ辺）を設定することにより、うら面のコピーの向きを変えることができます。

	印刷の向き：縦（タテ長原稿）	印刷の向き：横（ヨコ長原稿）
長辺とじ	1 2 → 1 2	1 2 → 1 2
短辺とじ	1 2 → 1 2	1 2 → 1 2

注意

- 両面コピーは、A3、A4、A5、B4、B5 サイズの普通紙でしか行えません。
- 【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【レイアウトコピー】の【2in1（ID カード）／ポスター（2 x 1）／ポスター（2 x 2）／ポスター（3 x 3）】、【ブックコピー】と同時に設定できません。
- 記録紙サイズが A3 または B4 の場合は、【拡大 / 縮小】と同時に設定できません。

1 両面コピー を押す

2 ◀/▶ で【オン】を選ぶ

3 ▲/▼ で【綴じ方】を選び、OK を押す

4 ▲/▼ でとじ方を選び、OK を押す

【縦原稿長辺綴じ／横原稿長辺綴じ／縦原稿短辺綴じ／横原稿短辺綴じ】から選びます。

記録紙サイズが A3、B4 の場合⇒手順 5 へ

記録紙サイズが A4、A5、B5 の場合⇒手順 7 へ

5 ▲/▼ で【A3/B4 両面コピー設定】を選び、OK を押す

6 ▲/▼ で【全体縮小】または【上下カット】を選び、OK を押す

注意

- 【全体縮小】を選ぶと、印刷範囲におさまるように自動的に縮小してコピーします。
  【上下カット】を選ぶと、等倍でコピーしますが、記録紙の上下合わせて 22mm の範囲にはコピーされません。

7 ▲/▼ で【一覧へ戻る】を選び、OK を押す

8 メッセージを確認して、原稿をセットする

原稿が両面の場合は、片面ずつ順に原稿台にセットしてください。

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

注意

■ ADFを使用する場合は、あらかじめ両面コピーしたいすべての原稿をセットしてください（ただし 1 回にセットできるのは 35 枚までです）。2 枚目以降がセットされていないと、原稿読み取りが終了したと認識され両面コピーが開始されてしまいます。

9 OK を押す

10 部数をダイヤルボタンで入力する

11 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

ADF に原稿をセットした場合：
操作は終了です。読み取りが開始されます。原稿 1 枚目を印刷すると記録紙はいったん排出されますが、2 枚目をうら面に印刷するために再度吸い込まれます。うら面の印刷が終了するまで記録紙に触れないでください。3 枚目以降も同様にそれぞれうら面の印刷が終了するまでは記録紙に触れないでください。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合：
【次の原稿はありますか？／はい⇒ 1 を押してください／いいえ⇒2を押してください】と表示されます。⇒手順 12 へ

12 1 を押して次の原稿をセットし、OK を押す

コピーするすべての原稿に対して、手順 12 を繰り返します。

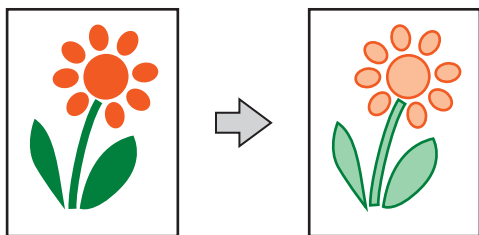
13 すべての原稿を読み取ったら、2 を押す

おもて面を印刷すると記録紙はいったん排出されますが、うら面を印刷するために再度吸い込まれます。うら面のコピーが終了するまで記録紙に触れないでください。

両面コピーをすると紙づまりが発生したり、汚れが目立つようなときは、あんしん設定をお試しください。手順 2 のあとで、▲/▼ で【あんしん設定】を選んで OK を押して、▲/▼ で【あんしん 1】または【あんしん 2】を選び OK を押します。【あんしん 1】では、印刷速度を落とします。【あんしん 2】では、印刷速度を落とすのに加え、インク量を抑えます。そのため通常のコピーよりやや薄くなります（ただし、記録紙サイズが A3 または B4 の場合は【あんしん 1】は機能しません）。

インクを節約してコピーする

［インク節約モード］

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。

注意

■ 原稿の種類によっては、コピー結果がイメージと異なることがあります。

■【レイアウトコピー】、【傾き補正】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】、【透かしコピー】と同時に設定できません。

【インク節約モード】機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 **原稿をセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 **コピー を押す**

コピーモードに切り替わります。

3 **部数をダイヤルボタンで入力する**

4 **▲/▼ で【便利なコピー設定】を選び、OK を押す**

5 **▲/▼ で【インク節約モード】を選び、OK を押す**

6 **モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す**

裏写りを軽減してコピーする

［裏写り除去コピー］

コピー時の裏写りを軽減します。

注意

■【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【レイアウトコピー】、【傾き補正】、【インク節約モード】、【ブックコピー】、【透かしコピー】と同時に設定できません。

【裏写り除去コピー】機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 **原稿をセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 **コピー を押す**

コピーモードに切り替わります。

3 **部数をダイヤルボタンで入力する**

4 **▲/▼ で【便利なコピー設定】を選び、OK を押す**

5 **▲/▼ で【裏写り除去コピー】を選び、OK を押す**

6 **モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す**

ブックコピーする

［ブックコピー］

原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを修正してコピーできます。

注意

- 【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【ソートコピー】、【レイアウトコピー】、【傾き補正】、【両面コピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【透かしコピー】と同時に設定できません。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合にのみ有効です。

【ブックコピー】機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

3 部数をダイヤルボタンで入力する

4 ▲/▼で【便利なコピー設定】を選び、OK を押す

5 ▲/▼で【ブックコピー】を選び、OK を押す

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

コピーに文字や画像を重ねる

［透かしコピー］

コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。追加する透かしには以下の種類があります。

- テンプレート

【COPY】【CONFIDENTIAL】【重要】のいずれかの文字を挿入します。位置、サイズ、回転、透過度、色を設定できます。

- メディア

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーなどに保存されているデータから画像を選択して追加できます。位置、サイズ、回転、透過度を設定できます。

- スキャン

スキャンした画像を追加できます。透過度を設定できます。

注意

- 【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【レイアウトコピー】、【傾き補正】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】と同時に設定できません。
- 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。
- 使用できないデータは、? と表示されます。

【透かしコピー】機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

テンプレートを重ねてコピーする

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第1章「原稿をセットする」

2 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

3 部数をダイヤルボタンで入力する

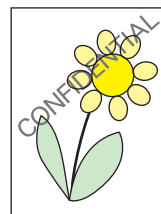
4 ▲/▼ で【便利なコピー設定】を選び、OK を押す

5 ▲/▼ で【透かしコピー】を選び、OK を押す

6 ▲/▼ で【テンプレート】を選び、OK を押す

7 透かしの設定を行う

次の6項目を設定します。▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で設定を選んでください。

- 【テキスト】：
  【COPY ／ CONFIDENTIAL ／重要】から選びます。
- 【位置】：
  【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面に印刷】から選びます。
  【全面に印刷】を選ぶと、紙面全体に文字を繰り返し追加します。
- 【サイズ】：
  【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  【-90° ／ -45° ／ 0° ／ 45° ／ 90° 】から選びます。
- 【透過度】：
  【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。
- 【色】：
  【赤／オレンジ／黄／青／緑／紫／黒】から選びます。

テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転：-45°
透過度：+2
色：黒

上記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

8 ▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す

9 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

メディアの画像を重ねてコピーする

メモリーカードやUSBフラッシュメモリーをセットして、保存されている画像を透かしとして追加します。

注意

- デジカメプリント が点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

3 部数をダイヤルボタンで入力する

4 ▲/▼で【便利なコピー設定】を選び、OK を押す

5 ▲/▼で【透かしコピー】を選び、OK を押す

6 本製品のカードスロットまたはUSBフラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 5 章「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

7 ▲/▼ で【メディア】を選び、OK を押す

8 ◀/▶ で画像データを選び、OK を押す

注意

- 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。
- 使用できないデータは、? と表示されます。

9 透かしの設定を行う

次の 4 項目を設定します。▲/▼ で項目を選び、◀/▶ で設定を選んでください。

- 【位置】：
  【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面に印刷】 から選びます。
  【全面に印刷】 を選ぶと、紙面全体に選んだ画像を繰り返し追加します。
- 【サイズ】：
  【小／中／大】 から選びます。
- 【回転】：
  【-90° ／-45° ／ 0° ／ 45° ／ 90° 】から選びます。
- 【透過度】：
  【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】 から選びます。

10 ▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す

11 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

スキャンした画像を重ねてコピーする

1 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

2 部数をダイヤルボタンで入力する

3 ▲/▼ で【便利なコピー設定】を選び、OK を押す

4 ▲/▼ で【透かしコピー】を選び、OK を押す

5 ▲/▼ で【スキャン】を選び、OK を押す

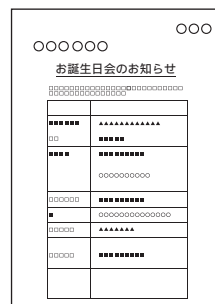
6 透かしに使用する原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿台ガラスに原稿をセットする」

透かしに使用する原稿

7 スタート カラー を押して原稿をスキャンする

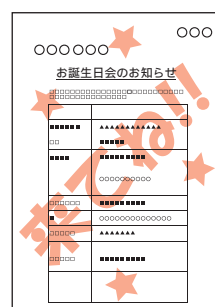
8 スキャンした原稿を取り除き、コピーする原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

コピーする原稿

9 ◀/▶で透かしの透過度を選ぶ

【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

10 ◀/▶で【確定】を選び、OK を押す

11 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

仕上がりイメージ

スキャンした透かしは拡大 / 縮小できません。

第6章

フォトメディアキャプチャ

デジカメプリント

写真や動画をプリントする

デジカメプリント

インデックスシートをプリントする

[インデックスプリント]

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像データを、一覧にしてプリント（インデックスプリント）できます。
A4 サイズの記録紙 1 ページ内に【速い /1 行 6 個印刷】の場合は最大 42 個、【きれい /1 行 5 個印刷】の場合は最大 30 個の画像がプリントされます。

注意

■ インデックスシートは、カラーでプリントされます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリントを押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

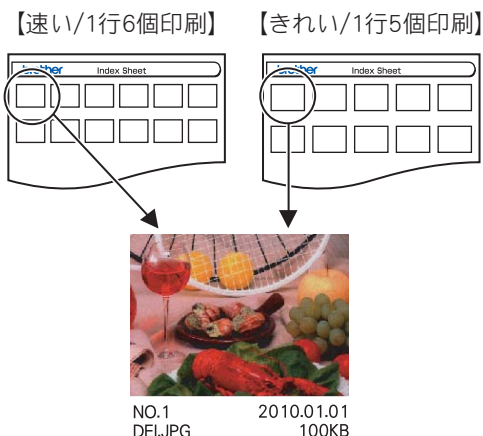
デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【インデックスプリント】を選び、OK を押す

レイアウト選択、記録紙タイプ、記録紙サイズのメニューが表示されます。

3 ▲/▼ で【レイアウト選択】を選ぶ

4 ◀/▶ でレイアウトを選び、OK を押す

【速い /1 行 6 個印刷／きれい /1 行 5 個印刷】から選びます。

5 ▲/▼ で【記録紙タイプ】を選ぶ

6 ◀/▶ で記録紙のタイプを選び、OK を押す

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢】から選びます。

7 モノクロスタート または カラースタート を押す

インデックスシートが撮影日時の順番でプリントされます。

- デジタルカメラでつけた名称やパソコンでのファイル名が半角英数字 8 文字以内の場合は、ファイル名が認識されます。ファイル名が認識されない場合は、順番に、1、2、3 のように番号が割り振られます。
- インデックスプリントでは、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定です。
- プリントできる画像は JPEG（.JPG）、および、MotionJPEG の AVI（.AVI）、MOV（.MOV）ファイル形式です。

番号を指定してプリントする

[番号指定プリント]

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリントを押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼で【番号指定プリント】を選び、OKを押す

3 プリントしたい画像の番号をダイヤルボタンで入力し、OKを押す

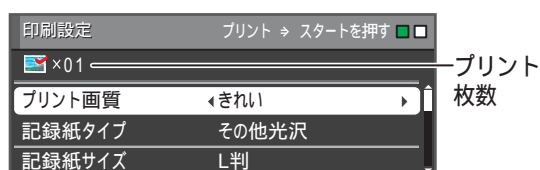
例1：1～5番を入力する

1 # 5 ＊ の順に押す

例2：1、3、5番を入力する

1 ＊ 3 ＊ 5 ＊ の順に押す

> 区切り記号も含めて12文字まで入力できます。

4 画面で設定を確認する

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒89ページ「設定を変えてプリントする」

5 プリント枚数をダイヤルボタンで入力する

6 モノクロスタートまたはカラースタートを押す

画像がプリントされます。

色や明るさを補正してプリントする

［色調整プリント］

画像をプリントする際に、色や明るさを補正して美しくプリントできます。

【色調整プリント】機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

人物と風景を美しくプリントする［自動色補正］

人物も風景も美しくプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

3 プリントしたい画像を◀/▶で選ぶ

▲ を押すと 90°左に、▼ を押すと 90°右に回転します。

4 OK を押す

5 ▲/▼ で【自動色補正】を選び、OK を押す

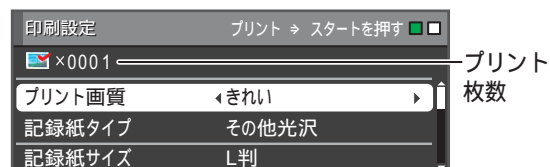
補正後の画像が表示されます。

人物の赤目を修正したい場合は、# を押して、赤目補正を行ってください。

＊ を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールできます。もう一度 ＊ を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 プリント枚数をダイヤルボタンで入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

画像がプリントされます。

肌を美しくプリントする［肌色あかるさ補正］

人物の肌を美しくプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

3 プリントしたい画像を◀/▶で選ぶ

▲を押すと 90° 左に、▼を押すと 90° 右に回転します。

4 OK を押す

5 ▲/▼ で【肌色あかるさ補正】を選び、OK を押す

補正後の画像が表示されます。

▲/▼ で補正量を 3 段階に調節できます。

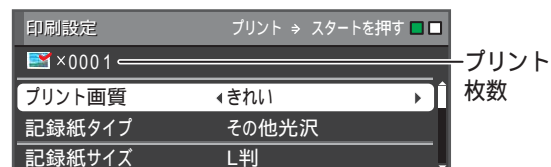
＊ を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールできます。もう一度＊を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 プリント枚数をダイヤルボタンで入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

画像がプリントされます。

風景を美しくプリントする［色あざやか補正］

風景を美しくプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

3 プリントしたい画像を◀/▶で選ぶ

▲ を押すと 90° 左に、▼ を押すと 90° 右に回転します。

4 OK を押す

5 ▲/▼ で【色あざやか補正】を選び、OK を押す

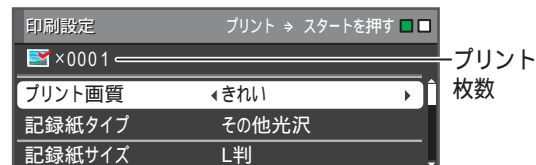
補正後の画像が表示されます。

▲/▼ で補正量を 3 段階に調節できます。

＊ トーン を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールできます。もう一度 ＊ トーン を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 プリント枚数をダイヤルボタンで入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

9 モノクロスタート または スタートカラー を押す

画像がプリントされます。

赤目を修正する［赤目補正］

フラッシュ撮影時の赤目を修正してプリントできます。

赤目補正は付属のソフトウェア「FaceFilter Studio」でも行うことができます。パソコンに保存されている画像の赤目を修正するときは「FaceFilter Studio」を使用してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「FaceFilter Studio で写真をプリントする」

フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

3 赤目を補正してプリントしたい画像を ◀/▶ で選ぶ

▲ を押すと 90° 左に、▼ を押すと 90° 右に回転します。

4 OK を押す

5 ▲/▼ で【赤目補正】を選び、OK を押す

■補正できたとき
補正後の画像が表示され、顔が赤枠で囲まれます。

✱ を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールできます。もう一度 ✱ を押すと、元に戻ります。

■補正できなかったとき
【赤目を検出できません】と表示されます。

6 再度補正するには、# を押す

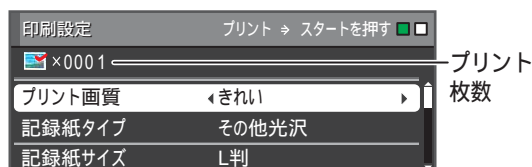
■補正できたとき
補正後の画像が表示され、目が赤枠で囲まれます。

✱ を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールできます。もう一度 ✱ を押すと、元に戻ります。

■補正できなかったとき
【赤目を検出できません】と表示されます。

7 OK を押す

8 プリント枚数をダイヤルボタンで入力し、OK を押す

9 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

10 モノクロスタート または カラースタート を押す

画像がプリントされます。

お好みで設定する
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
付録

夜景を美しくプリントする［夜景補正］

夜景を美しくプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

3 プリントしたい画像を◀/▶で選ぶ

▲ を押すと 90°左に、▼ を押すと 90°右に回転します。

4 OK を押す

5 ▲/▼ で【夜景補正】を選び、OK を押す

補正後の画像が表示されます。

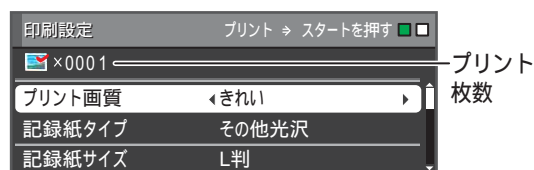
▲/▼ で補正量を 3 段階に調節できます。

＊ を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールできます。もう一度＊ を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 プリント枚数をダイヤルボタンで入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する

プリント枚数

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

画像がプリントされます。

逆光による影を明るくする［逆光補正］

逆光による影を、明るく補正してプリントします。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

3 プリントしたい画像を◀/▶で選ぶ

> ▲ を押すと 90°左に、▼ を押すと 90°右に回転します。

4 OK を押す

5 ▲/▼ で【逆光補正】を選び、OK を押す

補正後の画像が表示されます。

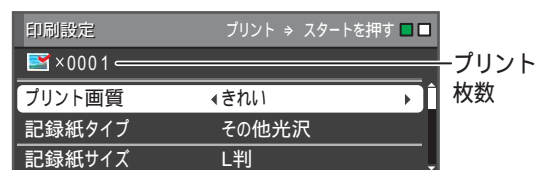
> ▲/▼ で補正量を 3 段階に調節できます。
>
> ＊ を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールできます。もう一度 ＊ を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 プリント枚数をダイヤルボタンで入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

画像がプリントされます。

お好みで設定する
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
付録

ホワイトボードの内容を読みやすくする［ホワイトボード補正］

ホワイトボードへの照明の映りこみなどを除去して、文字を読みやすくします。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

3 プリントしたい画像を◀/▶で選ぶ

▲を押すと 90° 左に、▼を押すと 90° 右に回転します。

4 OK を押す

5 ▲/▼ で【ホワイトボード補正】を選び、OK を押す

補正後の画像が表示されます。

（トーン）を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶でスクロールできます。もう一度（トーン）を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 プリント枚数をダイヤルボタンで入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

9 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

画像がプリントされます。

白黒でプリントする［モノクロ］

カラーで撮影した画像をモノクロでプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

3 プリントしたい画像を◀/▶で選ぶ

> ▲ を押すと 90°左に、▼ を押すと 90°右に回転します。

4 OK を押す

5 ▲/▼ で【モノクロ】を選び、OK を押す

モノクロに補正された画像が表示されます。

> ＊ トーン を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールできます。もう一度 ＊ トーン を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 プリント枚数をダイヤルボタンで入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

画像がモノクロでプリントされます。

セピア色でプリントする［セピア］

画像をセピア色でプリントします。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

3 プリントしたい画像を◀/▶で選ぶ

▲ を押すと 90°左に、▼ を押すと 90°右に回転します。

4 OK を押す

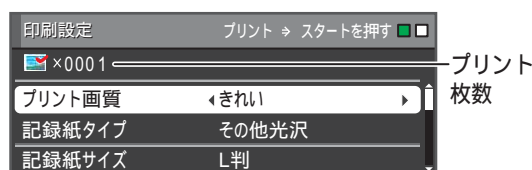
5 ▲/▼で【セピア】を選び、OK を押す

セピア色に補正された画像が表示されます。

＊ を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールできます。もう一度＊を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 プリント枚数をダイヤルボタンで入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

画像がセピア色でプリントされます。

撮影した日付で画像を探す

[日付から検索]

撮影した日付で、プリントする画像を指定できます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【日付から検索】を選び、OK を押す

撮影日と撮影枚数の一覧が表示されます。

3 ▲/▼ で日付を選び、OK を押す

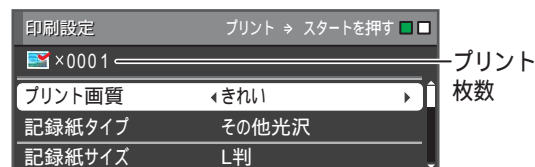
4 プリントしたい画像を ◀/▶ で選ぶ

◀/▶ を繰り返し押すと、他の日付の画像も表示できます。◀ で古い日付、▶ で新しい日付の画像が表示されます。

▲ を押すと 90° 左に、▼ を押すと 90° 右に回転します。

5 プリント枚数をダイヤルボタンで入力する

6 手順 4、5 を繰り返して、プリントしたい画像をすべて選び枚数を指定する

7 OK を押す

8 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

画像がプリントされます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をすべてプリントする

[すべてプリント]

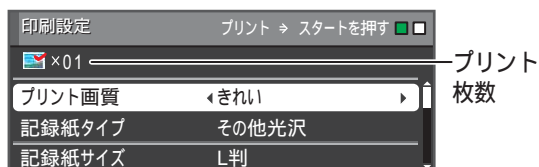
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの画像をすべてプリントできます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【すべてプリント】を選び、OK を押す

3 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

4 プリント枚数をダイヤルボタンで入力する

5 モノクロスタート または カラースタート を押す

画像がプリントされます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する

［スライドショー］

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を、画面に一定の間隔で順番に表示できます。このとき、必要な画像を選んでプリントすることもできます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【スライドショー】を選び、OK を押す

スライドショーが始まります。

3 終了するには 停止/終了 を押す

スライドショーが終了します。

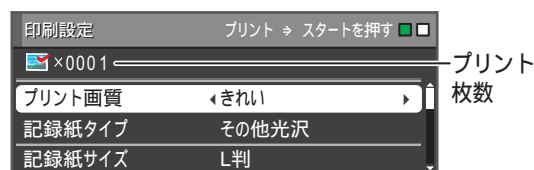
スライドショーの途中でプリントする

1 プリントしたい画像が表示されている間に OK を押す

2 プリント枚数をダイヤルボタンで入力する

◀/▶ で他の画像も選ぶことができます。

▲ を押すと 90° 左に、▼ を押すと 90° 右に回転します。

3 OK を押す

4 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

5 モノクロスタート または カラースタート を押す

画像がプリントされます。

画像の一部をプリントする

［トリミング］

画像の中から必要な部分だけを切り出してプリントできます。画像を回転させることもできます。

> 画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【トリミング】を選び、OK を押す

3 トリミングしたい画像を ◀/▶ で選ぶ

> ▲を押すと 90° 左に、▼を押すと 90° 右に回転します。

4 OK を押す

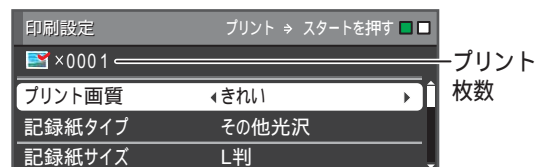
トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内がプリントされます。

5 枠の位置とサイズを選ぶ

> ▲/▼ または ◀/▶ で移動します。
> ＊（トーン）で拡大、#（記号）で縮小します。
> 0 を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

6 OK を押す

7 プリント枚数をダイヤルボタンで入力し、OK を押す

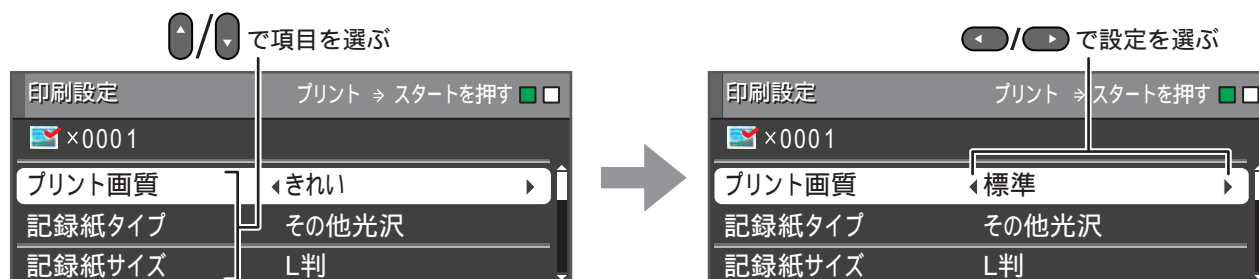
8 画面で設定を確認する

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 89 ページ「設定を変えてプリントする」

9 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

画像がプリントされます。

いろいろなプリント方法

設定を変えてプリントする

デジカメプリントの設定画面で、プリントする際の設定を変更できます。

(1) プリント画質

プリントする際の画質を設定します。

- 【標準】
  速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
  よりきれいにプリントする場合に選びます。

※DPOF を使用していない場合に設定できます。

(2) 記録紙タイプ

プリントする記録紙の種類を選びます。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢】

(3) 記録紙サイズ

プリントする記録紙のサイズを選びます。
【L 判／ 2L 判／ハガキ／ A4 ／ A3】
【A4】を選んだ場合は、プリントサイズ（レイアウト）を以下の設定から選びます。

8x10cm	9x13cm	10x15cm	13x18cm	15x20cm	用紙全体に印刷

(4) 明るさ（色調整プリントの場合は表示されません）

プリントする際の明るさを調整します。5 段階の調整ができます。▶ を押すと明るくなり、◀ を押すと暗くなります。

(5) コントラスト（色調整プリントの場合は表示されません）

プリントする際のコントラストを調整します。5 段階の調整ができます。▶ を押すとコントラストが強くなり、◀ を押すとコントラストが弱くなります。

(6) 画質強調（色調整プリントの場合は表示されません）

(1) ▲/▼ で【画質強調】を選び、OK を押す

(2) ◀/▶ で【する】を選ぶ

(3) ▲/▼ で設定する項目を選ぶ

- 【ホワイトバランス】
  画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。
- 【シャープネス】
  画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
- 【カラー調整】
  画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(4) ◀/▶ でレベルを調整する

(5) 手順 (3)、(4) を繰り返して、3 つの項目を調整する

(6) 調整が終わったら、▲/▼ で【一覧へもどる】を選び、OK を押す

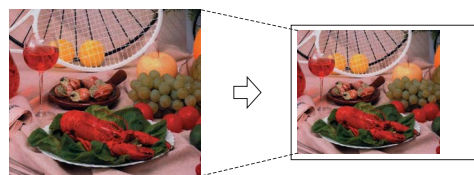
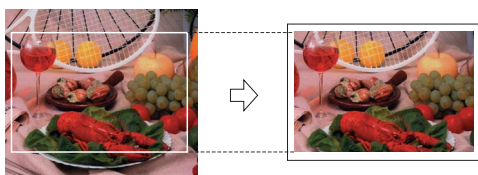
◆デジカメプリントの設定画面に戻ります。

※画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像データに対して有効に働きます。
メガピクセルクラスのカメラで撮影した画像は、そのままプリントしてください。
なお、画素数の多い画像データに画質強調を行うと、処理に数十分以上かかる場合があります。

(7) 画像トリミング

プリント領域いっぱいに画像がプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も【しない】に設定してください。

- 【する】
  横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。

- 【しない】
  画像データを切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。

(8) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいにプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(9) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※DPOF を使用していない場合にプリントできます。
※動画を選択した場合は、【する】に設定しても、日付はプリントされません。

(10) 設定を保持する
設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選び、OK を押します。【設定を保持しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されるので 1 を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。
(11) 設定をリセットする
印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

用語解説

＝あ＝

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**
専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェイス**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **画質強調**
解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **機密ポーリング**
受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけがファクスを受け取れる機能です。

● **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝さ＝

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて電話をとってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スプリッター**
ADSL 環境で必要な機器の 1 つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

＝た＝

● **ターミナルアダプター**
ISDN 回線で必要な機器の 1 つです。パソコンや電話機を ISDN 回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● **タスクバー**
Windows® の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **同報送信**
同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

● **とりまとめ送信**
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめて送る機能です。

＝な＝

● **ナンバーディスプレイ**
電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）

＝は＝

● **ファクス転送**
受信したファクスメッセージを、指定したファクシミリに転送する機能です。

● **プリンタードライバー**
パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポーリング通信**
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● **ポスターコピー**
1 枚の原稿を分割し、複数の記録紙に拡大コピーします。

＝ま＝

● **メモリー送信**
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー受信**
受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● **メモリー代行受信**
記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

＝ら＝

● **リアルタイム送信**
メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● **リモートセットアップ**
本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● **リモコンアクセス**
外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン（ログイン）

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

＝数字＝

● 2 枚に分割

A3 サイズ 1 枚の原稿を原寸のまま、A4 サイズ 2 枚の記録紙に分けてコピーする機能です。

● 2in1

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4in1

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

＝ A to Z ＝

● ADF（自動原稿送り装置）

Automatic Document Feeder の略。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）、黒（Black）によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● IP フォン

インターネットで使用されている IP（インターネット・プロトコル）技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX（構内交換機）

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer（パーソナルコンピューター）の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定できます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置とPresto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard（vcf 形式）

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置とPresto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 で標準サポートされています。

索引

わ